

(1月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
だいこん		11,521	103	12,356	107	65	86	2	0.0	千葉、神奈川産中心の入荷で全体の約9割を占める。千葉産の作柄は良好だが採り遅れにより2L中心の出まわりとなっており、入荷量は1月中旬までは前年を上回る見込み。神奈川産も作柄良好で平年より2週間程度生育が前進、入荷量は前年をやや上回る見込み。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は不作で高騰した前年を下回る見込み。
にんじん		6,301	105	7,162	130	65	101	-	-	千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。千葉産は作柄は良好で入荷量はここ数年不作であったことから、前年を上回る見込み。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を下回る見込み。
はくさい		13,343	100	13,503	60	70	49	-	-	茨城産中心の入荷で全体の9割を占める。茨城産は4玉中心で肥大、品質とも良好。全体の入荷量は昨年は他の野菜が寒波の影響で不作の中、はくさいは比較的順調であったことから、今年の入荷は前年並、価格は高値であった前年を下回る見込み。
ほうれんそう		1,764	95	19,708	533	103	475	1	0.1	群馬、埼玉を中心とする関東産が市況をリードする。群馬、埼玉産はハウス、露地とも生育は前進化しており、1月の入荷量は前年をやや下回る見込み。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。
キャベツ類		11,795	100	12,444	142	60	109	-	-	愛知、千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。愛知産は生育順調で平年並の見込み。千葉産はやや前進化傾向にあるが、1月まではほぼ前年並の入荷となる見込み。全体の入荷量は前年並、価格は高騰した前年を下回る見込み。
ねぎ		4,642	105	5,102	275	85	227	19	0.4	千葉、埼玉を中心とする関東産が市況をリードする。千葉産は10月の強風害の影響も回復し、入荷量は平年並であるが、不作であった前年を上回る見込み。埼玉産も生育は順調で入荷量はほぼ平年並の見込み。全体の入荷量は寒波の影響で少なかった前年を上回り、価格は比較的高値相場であった前年を下回る見込み。

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実 績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平 均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
レタス類		6,219	105	7,106	360	65	280	-	-	静岡、香川産中心の入荷で約6割を占める。各産地とも作柄良好で生育は前進化傾向、入荷量は寒波の影響で少なかった前年をやや上回り、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。
きゅうり		4,616	100	5,311	485	80	372	-	-	千葉を中心とする関東産、高知、宮崎などの暖地産が市況をリードする。千葉産は、作付がやや減少しているが、作柄は良好で入荷は前年並の見込み。高知、宮崎は11月の天候不順の影響も回復し、入荷量は前年並の見込み。全体の入荷量は前年並、価格は高騰した前年を下回る見込み。
なす		1,829	100	1,859	366	105	392	-	-	高知産中心の入荷で全体の約8割を占める。高知産は11月後半からの天候不順の影響も回復し、年明けから増量してくる見込み。全体の入荷量は前年並、価格はやや安値であった前年を上回るが平年は下回る見込み。
トマト		5,156	97	5,136	296	115	329	4	0.1	愛知、熊本の暖産が市況をリードする。愛知産は曇天の影響で病害の発生も散見され、年明けの入荷は前年をやや下回る見込み。熊本産は作柄良好であるが、昨年が豊作であったことから、入荷量はほぼ前年並。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は安値となった前年を上回る見込み。
ピーマン		1,333	98	1,375	567	90	544	-	-	宮崎、高知産中心で全体の約7割を占める。宮崎、高知産も生育は概ね順調で、入荷量はほぼ前年並の見込み。全体の入荷量は前年並、価格は高値であった前年を下回る見込み。
ばれいしょ		6,695	98	7,242	541	100	134	-	-	北海道産中心の入荷で市況をリードする。北海道産は8月以降の干ばつの影響でやや小玉傾向。入荷量は前年をやや下回り、価格はほぼ前年並の見込み。
たまねぎ		8,195	105	8,691	103	100	89	-	-	北海道中心の入荷で全体の約9割を占める。北海道産の作柄は概ね良好。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並の見込み。